

平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月9日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

配当支払開始予定日

TEL 06-6765-0670

平成21年11月20日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	4,561	—	146	—	171	—	329	—
21年2月期第2四半期	4,543	△38.8	△202	—	△211	—	△239	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	40.10	—
21年2月期第2四半期	△29.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	3,602	1,973	54.3	237.85
21年2月期	3,587	1,665	46.0	200.73

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 1,956百万円 21年2月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	6.00	—	3.00	9.00
22年2月期	—	6.00	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△2.9	180	—	200	—	340	—	41.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	8,359,103株	21年2月期	8,359,103株
② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	133,275株	21年2月期	133,244株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第2四半期	8,225,829株	21年2月期第2四半期	8,226,139株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,900	13.0	140	—	190	—	280	—	34 04

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、世界的な景気後退の影響を受け、企業収益の大幅な落ち込みと、雇用情勢の不安や個人消費の冷え込みは依然として継続していることに加え、企業間競争の更なる激化もあり厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループの卸売事業のうちアミューズメント業界向け販売部門が順調に推移し、売上高は4,561百万円（前年同期比0.4%増）となりました。また、グループ全体で取り組んだ諸経費の削減や在庫の圧縮を中心とした経営効率の改善により、営業利益は146百万円（前第2四半期連結累計期間は202百万円の営業損失）、経常利益は171百万円（前第2四半期連結累計期間は211百万円の経常損失）、四半期純利益は329百万円（前第2四半期連結累計期間は239百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（1）卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、ビデオゲームやメダルゲーム、通信カードゲーム等の低迷の影響を受けて、オペレーターが多くがプライズ機に注力する動きが見られ、オペレーターでのプライズ機の売上構成比が高まりました。この状況の中、当部門においてはチェーン展開するオペレーターへの商品企画段階からの提案営業を強化しました。商品面では、「まるねこくらぶ」「でぶねこ」「スウィートペア」等のオリジナルキャラクターのヒットにより売上高は2,286百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

S P部門においては、外食チェーン店のキャンペーン用商品や、雑誌の付録等のOEMが決まり、売上高は588百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

物販業界向け販売部門においては、コンビニエンスストア向けホビー商材の大型案件が受注できたことに加えて、既存得意先の積極的な新規出店により専門店チェーンの取引店舗数が大幅に増加し、売上高は大きく伸びました。商品面では、キャラクターのインナーウェア等のバラエティ雑貨が好調であり、売上高は1,113百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

以上の結果により、売上高は3,988百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は156百万円（前第2四半期連結累計期間は90百万円の営業損失）となりました。

また、国内でのアミューズメント業界向け販売部門で培った商品づくりのノウハウの水平展開、新たなキャラクター発掘と日本への情報提供等を主な事業コンセプトとして、来夏ごろからの本格稼働を目指して、北米での現地法人設立準備をすすめております。

（2）小売事業

小売事業においては、旧心齋橋店の地下1階で「NAKANUKIYA+on」という従来のナカヌキヤにおしゃれ感と値ごろ感をプラスした新店を6月にオープンしましたが、利益率の低い化粧品の売上構成比が全体の90%を占め、収益面では厳しい結果となりました。既存店のうち松山銀天街店は経費削減が功を奏し黒字を確保したものの、広島本通り店は近隣にショッピングモールがオープンしたため、商店街のポテンシャルの低下と消費低迷の影響から苦戦しました。

以上の結果により、売上高は573百万円（前年同期比40.2%減）、営業損失は12百万円（前第2四半期連結累計期間は113百万円の営業損失）となりました。

（注）「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比及び前第2四半期連結累計期間の実績数値は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、3,602百万円となりました。これは主に、未収還付法人税等（流動資産「その他」）の減少額101百万円、保険積立金（投資その他の資産「その他」）の減少額95百万円等により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額322百万円、現金及び預金の増加額90百万円等によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、1,629百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額34百万円等により一部相殺されたものの、短期借入金の減少額270百万円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ307百万円増加し、1,973百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加額305百万円等によるものであります。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて90百万円増加し、563百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、133百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加額が322百万円及び保険解約益が106百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が348百万円及び法人税等の還付額が101百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、255百万円となりました。

これは主に、保険積立金の解約による収入が242百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、294百万円となりました。

これは主に、短期借入金の減少額が270百万円あったこと等を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成21年10月2日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しました。これは、当第2四半期連結累計期間において卸売事業のアミューズメント業界向け販売部門が好調に推移し、当初の業績予想を上回ることが見込まれたことによるものであります。詳細につきましては、当該資料をご覧ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来より主として総平均法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。

なお、この変更による損益及びセグメントに与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	563,845	472,988
受取手形及び売掛金	1,363,194	1,040,952
商品	441,363	483,636
繰延税金資産	12,548	9,952
その他	61,330	235,556
貸倒引当金	△6,298	△5,905
流動資産合計	2,435,983	2,237,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	541,319	538,778
減価償却累計額	△178,404	△170,501
建物及び構築物(純額)	362,914	368,277
車両運搬具	8,907	8,004
減価償却累計額	△6,470	△5,940
車両運搬具(純額)	2,437	2,064
その他	47,806	61,295
減価償却累計額	△30,887	△44,440
その他(純額)	16,919	16,855
土地	332,546	332,546
有形固定資産合計	714,818	719,743
無形固定資産		
無形固定資産合計	5,592	5,294
投資その他の資産		
投資有価証券	127,967	141,715
繰延税金資産	2,420	2,857
その他	335,780	499,503
貸倒引当金	△19,889	△18,824
投資その他の資産合計	446,279	625,251
固定資産合計	1,166,690	1,350,289
資産合計	3,602,673	3,587,470

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	846,844	812,573
短期借入金	400,000	670,000
未払法人税等	29,221	1,265
賞与引当金	45,840	41,006
その他	204,727	288,930
流動負債合計	1,526,633	1,813,776
固定負債		
退職給付引当金	99,154	103,268
その他	3,865	4,605
固定負債合計	103,019	107,874
負債合計	1,629,653	1,921,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,091,479	786,311
自己株式	△50,999	△50,995
株主資本合計	1,953,315	1,648,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,121	1
繰延ヘッジ損益	△1,911	3,052
評価・換算差額等合計	3,210	3,054
新株予約権	16,494	14,613
純資産合計	1,973,020	1,665,819
負債純資産合計	3,602,673	3,587,470

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	4,561,819
売上原価	3,310,834
売上総利益	1,250,985
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	1,756
給料及び手当	419,601
賞与引当金繰入額	45,840
退職給付費用	7,647
その他	630,041
販売費及び一般管理費合計	1,104,886
営業利益	146,098
営業外収益	
受取利息	356
受取配当金	1,758
投資有価証券評価損戻入益	30,036
その他	8,908
営業外収益合計	41,060
営業外費用	
支払利息	4,753
投資有価証券売却損	6,717
為替差損	2,288
その他	1,543
営業外費用合計	15,303
経常利益	171,855
特別利益	
保険解約返戻金	106,366
前期損益修正益	59,022
その他	11,835
特別利益合計	177,224
特別損失	
固定資産売却損	519
特別損失合計	519
税金等調整前四半期純利益	348,560
法人税、住民税及び事業税	27,631
法人税等調整額	△8,916
法人税等合計	18,715
四半期純利益	329,845

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	348,560
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,456
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,113
差入保証金の増減額 (△は増加)	68,825
受取利息及び受取配当金	△2,115
支払利息	4,753
投資有価証券評価損戻入益	△30,036
保険解約損益 (△は益)	△106,366
売上債権の増減額 (△は増加)	△322,232
たな卸資産の増減額 (△は増加)	42,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,270
その他	△3,557
小計	36,552
利息及び配当金の受取額	2,130
利息の支払額	△4,375
法人税等の支払額	△1,799
法人税等の還付額	101,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△20,071
保険積立金の解約による収入	242,409
投資有価証券の売却による収入	42,916
その他	△9,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	255,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△270,000
自己株式の取得による支出	△4
配当金の支払額	△24,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,259
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,856
現金及び現金同等物の期首残高	472,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,845

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,988,769	573,049	4,561,819	—	4,561,819
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,894	—	3,894	(3,894)	—
計	3,992,664	573,049	4,565,714	(3,894)	4,561,819
営業利益又は営業損失（△）	156,780	△12,092	144,688	1,410	146,098

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		4,543,502	100.0
II 売上原価		3,410,944	75.1
売上総利益		1,132,558	24.9
III 販売費及び一般管理費			
1. 荷造運送費	149,202		
2. 貸倒引当金繰入額	6,655		
3. 給与手当	468,267		
4. 賞与引当金繰入額	56,550		
5. 福利厚生費	118,246		
6. 賃借料	167,980		
7. その他	368,632	1,335,537	29.4
営業損失		202,979	△4.5
IV 営業外収益			
1. 受取利息	2,487		
2. 受取配当金	2,059		
3. 保険解約益	5,570		
4. 為替差益	4,836		
5. 賃貸収入	1,437		
6. その他	4,624	21,015	0.5
V 営業外費用			
1. 支払利息	2,299		
2. 投資有価証券売却損	16,718		
3. 投資有価証券評価損	8,468		
4. 賃貸原価	680		
5. その他	1,019	29,186	0.6
経常損失		211,149	△4.6
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	342		
2. 保険満期返戻益	10,709		
3. 前期損益修正益	20,117	31,169	0.7
VII 特別損失			
1. 固定資産売却損	24		
2. 固定資産除却損	570		
3. 店舗閉鎖損失	34,807	35,402	0.8
税金等調整前中間純損失		215,383	△4.7
法人税、住民税及び事業税	1,651		
法人税等調整額	22,585	24,237	0.6
中間純損失		239,620	△5.3

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失	△215,383
減価償却費	8,405
店舗閉鎖損失	34,807
賞与引当金の増加額・減少額 (△)	1,925
貸倒引当金の増加額・減少額 (△)	6,655
退職給付引当金の増加額・減少額 (△)	△4,001
保証金の減少額・増加額 (△)	227,702
受取利息及び受取配当金	△4,547
支払利息	2,299
投資有価証券評価損	8,468
投資有価証券売却損	16,718
保険満期返戻益	△10,709
固定資産売却損	24
売上債権の減少額・増加額 (△)	27,370
棚卸資産の減少額・増加額 (△)	31,118
仕入債務の増加額・減少額 (△)	△69,420
未払金の増加額・減少額 (△)	△95,061
その他	△129,797
小計	△163,424
利息及び配当金の受取額	4,418
利息の支払額	△2,406
法人税等の支払額	△91,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252,435
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△6,174
投資有価証券の売却による収入	2,054
保険積立による支出	△18,151
保険解約による返戻金収入	12,865
保険満期による返戻金収入	20,031
有形固定資産の取得による支出	△29,219
有形固定資産の売却による収入	70
その他	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,565
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	410,000
短期借入金の返済による支出	△444,000
自己株式の取得による支出	△87
配当金の支払額	△49,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,431
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,170
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額 (△)	△356,602
VI 現金及び現金同等物の期首残高	958,462
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	601,860

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日）

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,584,666	958,835	4,543,502	—	4,543,502
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,860	—	10,860	(10,860)	—
計	3,595,527	958,835	4,554,362	(10,860)	4,543,502
営業損失	△90,472	△113,425	△203,898	919	△202,979

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。